

2年生2学期中間テストを振り返って



教科	成果と課題
国語	<p>敬語や物語・随筆の文学的な文章の読み取りはよくできていました。敬語は、尊敬語と謙譲語の使い分けに注意しながら、これからも日常生活の中で使って身につけてください。ただ、今回は説明的文章の出題はありませんでしたが、説明的文章では抽象的な概念を表す言葉や日常生活ではあまり使わない言葉がよく出てきます。筆者の考えを正確につかむためにも、わからない言葉はすぐ辞書で調べ、意味とその使い方をつかんでおくことが必要です。また、文法や漢字の書き取りができていない人が目立ちました。日頃の漢字ノートの練習でできなかったところを繰り返し学習してください。</p>
理科	<p>生物の分野は覚える語句が多く、繰り返し学習が必要だったかと思います。ワークや理科ノート等を頑張った人たちは高得点が取れたのではないのでしょうか。消化と吸収、動物の分類の範囲は特にできていました。一方、銅の酸化の計算問題の正答率が低かったため、再度復習が必要です。パターン化して解けるものも多いので、たくさんの問題に触れて慣れるようにしましょう。</p>
英語	<p>英作文では、本文を引用しながら自分の考えを上手に表現している人が増えたな、と思いました。授業で一生懸命頑張った成果がしっかりでていました。一方、単語や熟語など覚えるだけでよいものへの取り組みが甘かった人も見られました。英語はコツコツ積み上げる教科なので、毎日10分でもよいので、単語や熟語を覚える時間を作るといいですね。</p>
社会	<p>今回のテストは範囲も広く、覚える重要語句が多いので、大変だったと思いますが、各地域のおもな地形などについては正答率が高く、しっかり勉強していた様子が伝わりました。記述式の問題にも積極的に取り組み、無回答が少なかったことも印象的です。今回の課題としては、統計資料の読み取りが不十分だった点です。近年、工業出荷額や農業生産額、人口などからあてはまる都道府県名を考える問題が多いと思います。これからは、各地域の工業や農業の特色を覚えるだけでなく、他地域との比較をしておくことも大切になってきますね。</p>
数学	<p>今回のテストは計算量も多く、時間いっぱいを使うテストだったので実力がはっきり出たかなと思います。1次関数の基本的な知識を問う問題の正答率の低さが目立ちました。しかし、計算問題の正答率が悪くなかったのは嬉しかったです。</p> <p>ワークの応用問題を少し変えたような問題は出題されやすいので、高得点を狙う人はぜひポイントを押さえる必要があると思います。</p> <p>普段から計算しているかどうかはテストではっきり差がでてくるので、一日一問でもいいので数学の計算問題に取り組むことをお勧めします。</p>
家庭	<p>家庭のテストは、衣服の働きや既製服の選択や購入方法などは、きちんと取り組んでありました。しかし、既製服の表示や繊維の種類などは、もう少し正確に学習出来たら良かったと思います。日頃の生活に大切な部分です。</p>